

授業科目名	在宅看護学援助論 (2300232)		
時間割名	在宅看護学援助論 (23205)		
時間割担当	佐藤郁代		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・3		

授業の目標・概要

在宅療養者とその家族への理解を深めるとともに看護のアウトカムとしての対象者のクオリティ・オブ・ライフを追求するために、全人的な視点から得た客観的情報の分析から対象者の健康問題や生活課題に関する諸問題を明確にし、在宅看護過程の展開ができるようになる。また在宅看護で必要度の高い技術・ケア（日常生活援助、医療行為、医療的ケア）の原理原則と個別性への応用を学び、効果的で個人にあった看護を展開するための実践力を主体的に習得できるような態度を育む。

学習の到達目標

- 1.在宅療養者とその家族の意思決定を支援する必要性とその方法について説明できる。
- 2.在宅療養者とその家族の在宅看護過程を展開することができる。
- 3.在宅療養者とその家族にかかわる他職種連携の必要性とその方法について説明できる。
- 4.さまざまな健康問題・生活課題をもつ在宅療養者の日常生活援助の方法について説明できる。
- 5.さまざまな健康問題・生活課題をもつ在宅療養者の医療的行為・医療ケアについて説明できる。

授業方法・形式

講義・演習

授業計画

- 第1回 ガイダンス 在宅看護と看護過程
- 第2回 在宅看護における日常生活援助技術 : 食生活と嚥下・排泄に関する在宅看護技術、社会資源の活用
- 第3回 在宅看護における日常生活援助技術 : 清潔・移動と以上に関する在宅看護技術、社会資源の活用
- 第4回 長期臥床状態にある療養者への在宅看護
認知症療養者への在宅看護
- 第5回 難病療養者への在宅看護
- 第6回 在宅医療を必要とする療養者への在宅看護 : 酸素療法・人工呼吸療法・吸引、他職種連携
- 第7回 在宅療法を必要とする療養者への在宅看護 : 膀胱留置カテーテル法、胃瘻・経管栄養法、褥瘡管理、他職種連携
- 第8回 ターミナル期の療養者への在宅看護
- 第9回 在宅療法を必要とする療養者への在宅看護 : 薬物療法、中心静脈栄養法
- 第10回 精神障害者・子どもの療養者への在宅看護
- 第11回 在宅看護過程の展開 : 情報収集
- 第12回 在宅看護過程の展開 : アセスメント
- 第13回 在宅看護過程の展開 : 関連図
- 第14回 在宅看護過程の展開 : 看護計画
- 第15回 在宅看護過程の展開 : グループ発表 まとめ

成績評価の基準

平常点（提出物、発表、グループ作業の成果物）（40％）
定期試験（60％）

準備学習・復習及び授業時間外の課題

授業前は授業に関する章を読み、基礎知識をつけること。
演習には提示した課題を行ったうえで臨むこと。
授業終了後は講義内容を整理し、学習した内容について復習すること。

履修上のアドバイス及び留意点

在宅看護学概論で学んだ内容をもとに、実際に生活の場で行われる看護について考えましょう。
演習およびグループワークが中心の授業です。主体的・積極的な姿勢で臨んでください。

教材・教科書

河原加代子他、在宅看護論/医学書院

参考書

参考書 適宜、資料を配布します。